

地域への誇りと愛着を育む 公民館づくり



与野本町公民館

目次

- 取組の概要
- 取組の背景や工夫した点
- 取組の成果
- 課題
- 今後の展望



取組の概要

【つながりづくり】

与野本町公民館は、地域住民と共に地元の歴史に触れて地域への誇りと愛着を育む学びの提供を実施します。

- ▶介護予防事業「桑の実学級」での与野を代表する2つの神社の講座
 - ▶「浪曲与野本町亭」「新春落語会」などで伝統芸能に親しむ
 - ▶子ども公民館での高校生から小学生への指導、中学生ボランティアからの指導補助
 - ▶館区内各小中高等学校のSDGsの取り組みパネル展示
 - ▶各所より集めた写真等を編集、かつ地元中学校と連携した動画作成

公民館ビジョン取組シート

公民館ビジョンを実現するための行動目標

「つながりづくり」

与野本町公民館は、地域住民と共に地域の歴史や文化に触れる学びの場を通して、地域への誇りと愛着を育み、地域と共に歩む公民館を目指します。

与野本町公民館の具体的な取組

歴史と伝統芸能に触れることを通して、中央区（旧与野市）の魅力を共有したり、地元の学校と地域の連携を図りながら、地域の方々の学びのステーションとして、地域から愛され気楽に集う公民館とします。

また、地元の子育て施設や小・中学校・高等学校や関係団体と積極的に連携し、公民館との共催事業を展開するなどして、地域の連帯感を醸成します。

与野の街・文化を再発見…人のつながり・学びのステーション

地域の人々が地域の歴史や文化を知ることを通して、郷土愛を育み、地域の連帯感を醸成します。

中央区（旧与野市）の魅力を再発見して地域に広げよう

公民館は「地域の未来をつくる学びの拠点」として「ひとづくり」「つながりづくり」「地域づくり」に取組みます。

与野本町公民館長 中村 淑人

取組の背景や工夫した点

- 取組の設定理由、経緯

歴史と伝統芸能に触れることを通して、中央区の魅力を共有したり、地元の学校と地域の連携を図りながら、地域の方々の学びのステーションとして、地域から愛され気軽に集える公民館を目指します。

- 取組の中で工夫した点、力を入れた部分

地元の子育て施設、小・中・高等学校や関係団体と積極的に連携し、講座の開催を行いました。

中央区の魅力を伝えることを目的として、写真やデータに、地元中学校の放送部の協力を得てナレーションをつけた動画を作成しました。

わが街に恋して

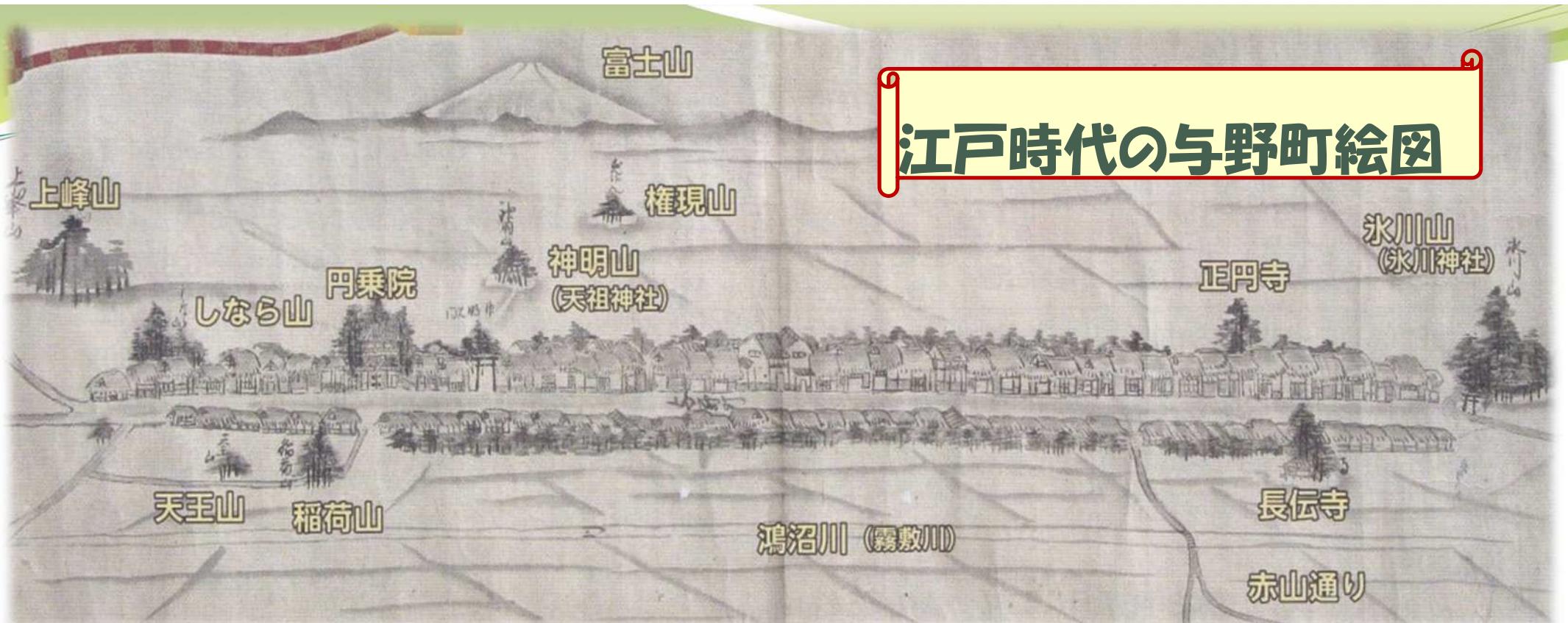




与野本町公民館は、地域の方々と共に地元の歴史に触れ、地域への誇りと愛着を育み、郷土愛を共有します。

そのために今も残る本町通りの歴史的面影を動画とお話でご紹介します。





江戸時代の与野町絵図

文政年間（1818～30）の作と推定される「与野町絵図」を見ると、街並みを南北に貫いている道路があることがわかります。この道路は現在の本町通りで、古くは鎌倉街道の便道、あるいは羽根倉道とも呼ばれていました。

江戸時代の本町通りは、甲州街道日野宿から岩槻を経て奥州街道へ抜ける脇往還の継立場(つぎたてば)でもあり、市場町として栄えていました。毎月四と九のつく日には市が立ち、米、粟、稗、大豆、小豆、お茶、灰（肥料）、土物、荒物などの取引が盛んで、入間川（現在の荒川）の船運を利用して江戸との交易も活発に行われていました。

本町通りと蔵造りの街並み



本町通りの中心街に入り、町家形式の住宅が昔の面影をとどめています。

蔵造り住宅前の空き地は、市場が開かれていた場所の名残で、当時の道幅は、現在よりも左右四、五間ぐらいずつ広く、欧米の道路に負けないくらい悠々としていました。

ここからは、今も現存する代表的な建物をご紹介します。



終わりに



今回は本町通りの中でも歴史的面影を残す建物に焦点を当て作成いたしました。

公民館ビジョン「わが街に恋して」いかがでしたでしょうか。

ご覧いただき誠にありがとうございました。

ご清聴
ありがとうございました



作成：与野本町公民館

協力：資料提供 与野郷土資料館

ナレーション

さいたま市立与野西中学校
放送委員会のみなさん

※文章の一部は、「与野の歴史散歩」から引用しております。

取組の成果

- ・地域の自然や文化財を題材にした講座では、「普段、気になっていたことの疑問がとけた」「より深く地域を知ることができた」などの感想がありました。
 - ・小学生と高校生が交流する講座では、世代の違いを超えてお互い得たものがあったようでした。
 - ・地域の魅力を伝える動画を作成することができました。
-
- ▶ 目標に対して成果はどうだったか
 - ・高等学校側からは、公民館と連携して講座を行いたいというクラブが複数あるとの報告がありました。
 - ・公民館再開後に、中央区の魅力を伝える動画をロビー等で流し、地域の方々に見てもらうことができます。



与野を代表する二つの神社
与野本町氷川神社と一山神社

夏休み子どもカレッジ／化石のレプリカ





夏休み子どもカレッジ／『ペットボトルでシャカシャカ ☆アップサイクルキーholderを作ろう』



高校生が教えてくれる～チアリーディングを楽しもう

まずはポージングの練習～グループごとにパート練習～与野高校バトン部



冬休み子どもカレッジ① ドライフラワーで楽しむハーバリウムづくり いづみ高校



オイルを入れてくれるのは
農業クラブの生徒さんたち



世界で一つの作品が完成！

冬休み子どもカレッジ② トコトコうさぎとオリジナルプレートづくり 与野高校



型紙を切り抜き、組み立てていきます。

与野高校科学部研究部

SDGs パネル展



多くの方が足を止め、それぞれの取組みをじっくり読んでいる姿が印象的です。

伝統芸能に親しむ 「浪曲与野本町亭」



新春落語会 三遊亭樂生

於：与野本町コミュニティセンター



課題

- ①令和6年11月から令和8年3月（予定）までリフレッシュ工事により休館となったことから、公民館が地域外（鈴谷公民館内）に移動した際に、身近な学びの拠点がなくなった地域住民の方々へどのように学びを提供するか。
- ②講座ごとに担当者を振り分けると、地区館は常勤が1名しかいないため、小・中・高等学校や関係団体との連携の際には打ち合わせ時間等の確保が難しいことがある。

今後の展望

休館中も、公民館区内の小・中・高等学校、コミセン、区役所、図書館を会場とした講座を計画し、公民館区内の地域の方々が与野本町公民館の主催講座に参加できるようにしてきました。

今後も、地域の方々にとって魅力的な公民館となるよう、学びを通して、地域住民とのつながりの場をつくってまいります。

また、中学生ボランティアの様子や高校生が小学生に指導する講座の様子などを地域の方々に発信していくことで、小・中・高等学校にも積極的に公民館と連携したいと感じてもらえるようにしてまいります。